

副詞 *heureusement* の用法と特徴に関する一考察

日本フランス語学会

第 348 回例会 2024 年 9 月 21 日(土)

発表者：宮腰 駿 (東京大学大学院)

本発表は副詞 *heureusement* の多様な用法を観察し、この副詞の特徴を明らかにすることを目的とする。この副詞は生起位置に応じて述定関係の全体 (1a, 1b) あるいは一部 (1c, 1d) について「評価」を行う副詞としてとらえられる。本発表では最初に先行研究を批判的に検討したうえで、「*heureusement* が示す『評価』はいかなるものであるのか？」という問いを設定する。

(1) 『プログレッシブ仏和辞典』第 2 版からの引用

- a. ***Heureusement*** (pour elle), un agent de police est passé par là.
(彼女にとって) 幸いにも警官がそこを通りかかった.
- b. ***Heureusement*** qu'il ne pleuvait pas.
幸い雨は降っていなかった.
- c. L'affaire a été ***heureusement*** menée pour nous.
取引は我々にとって有利に運んだ.
- d. Cela est ***heureusement*** exprimé.
それはうまい表現だ.

次に Guimier (1998) の議論を参照したうえで、*heureusement* が「1. 修飾要素 p、2. p と関係づけられる他の要素 p'、3. 期待値 v」という 3 つの要素を中心に機能しているという仮説を設定する。この仮説に基づき、用例の観察を行い、各用法 (文副詞用法、単独/返答用法、構成素副詞用法) が持つ特徴について議論を行う。また、この副詞の特徴を明確にする目的で、関連する表現 (*par bonheur* および *malheureusement*) との比較も行う。最後に議論をまとめ、課題を述べる。

主要参考文献

- Culioli, A. (2018), "*Heureusement !*", *Pour une linguistique de l'énonciation*, Tome IV, Lambert-Lucas, pp.125-133.
- Delahaie, J. (2018), "Entité lexicale : *heureusement*", J.-C. Anscombe et al. (éds) *Opérateurs discursifs du français*, 2, Peter Lang, pp.249-261.
- Guimier, C. (1998), "Pourquoi peut-on dire *Heureusement que Pierre est parti*, mais pas **Malheureusement que Pierre est parti* ?", *Revue de Sémantique et Pragmatique*, 3, pp.161-176.
- Molinier, C. et F. Levrier (2000), *Grammaire des adverbes : Description des formes en -ment*, Droz.